

令和3年度 HIV 感染症医師実地研修会（医師一ヶ月研修）の募集要項

- 1、対象：西日本のエイズ診療拠点病院医師（初期研修医は除く）で所属施設長の推薦を受けた者。研修終了後にHIV診療に継続して関わる者が望ましい。
- 2、受講者調書には、研修を希望する理由、HIV 診療経験の有無（有りの場合、経験年数や患者数など）今後の HIV 診療予定なども記載をお願い致します。*書類選考があります。（受講者調書は、<http://www.onh.go.jp/khac/medical/kensyu.html>からもダウンロードできます。）

3、研修内容：講義と病棟実習（4週間）

※日本エイズ学会認定医・指導医制度の指定研修会

講義内容の概略（2019年度の例）

主な講義内容	他科・招聘医師の講義、見学など
疫学と抗 HIV 治療ガイドライン	HIV 感染症と肝炎
HIV 感染症の診断	HIV と歯科疾患
HIV 急性感染	わが国における HIV 母子感染の現状
新規抗 HIV 薬	HIV 感染症と皮膚疾患
日和見感染症診療 PCP	HIV 感染症と眼科疾患
日和見感染症診療 CMV 感染症	HIV 陽性者に対する外科手術
日和見感染症診療 HIV 脳症、PML、クリプトコッカス症	HIV 陽性者肛門疾患
HIV と生活習慣病	HIV 感染症と消化器疾患
免疫再構築症候群（IRIS）	HIV 感染症における呼吸器疾患の画像診断
STD（性行為感染症）の診療	HIV と薬剤耐性検査・臨床検査科見学
血友病診療・凝固因子製剤の使い方	HIV 感染症の看護（病棟）
針刺し暴露後対策	在宅療養支援の実際
女性と HIV	神経心理検査と事例検討
	HIV 陽性妊婦の看護支援
	抗 HIV 薬の特徴と薬剤師の役割
	HIV とカウンセリング
	HIV 感染者に対するソーシャルワーク
	HIV 感染症と薬物依存
	薬害エイズと医療体制
	特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権（MERS）
	特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター（JHC）chotCAST
	特定非営利活動法人 CHARM
	MASH 大阪／community center dista

※令和3年9月27日・28日の HIV 感染症研修会、9月29日の HIV 医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会に参加していただきます。

4、定員

3名程度（書類選考があります）。

5、研修日時

令和3年9月27日（月）～令和3年10月22日（金）

6、実施場所

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

臨床研究センター3階 カンファレンス室、外来、病棟他

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14 TEL:06-6942-1331(代)

7、その他の取り決め事項

- 1) 今回の研修は、講義のみではなく実際に患者さんを診療して頂きますので、白衣等もご用意願います。
- 2) 長期間の研修となりますが、必ず全日程に参加可能な方を推薦して頂きますようお願いいたします。
- 3) 研修にかかる費用については一切必要ありませんが、研修以外にかかる費用（交通費、食費、宿泊費）については受講者自身で負担して下さい。
※宿泊施設が必要な場合は、ご相談ください。
- 4) 研修修了者については修了認定証を交付いたします。

8、受講者調書送付先

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

管理課 職員係長 小國 駿 TEL:06-6942-1331(代), FAX:06-6943-6467

9、お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

臨床研究センター HIV情報担当職 辻 宏幸 TEL:06-6942-1331(内7618)

10、申込み締切日 令和3年7月25日(日)

※定員に満たない場合は締め切りを延期する場合があります。

研修の参加における新型コロナウイルス感染症対策について

研修の開催にあたり、当センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止について以下の対応・対策を行っております。何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■研修に参加される前に

- ①以下の事項に該当する場合は、参加ができませんのでご了承ください。
- 体調が優れない場合（感染および感染が疑われる以下の症状がある場合）
 - ・37.5℃を超える発熱 ・咳 ・のどの痛み ・倦怠感(だるさ) ・息苦しさ ・嗅覚や味覚の異常
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 開催日前14日以内で、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ②研修参加14日前より別紙の「研修受講者問診票」を記入し、研修当日の受付で必ずご提出ください。

■研修中の対策について

開催期間中は以下の項目についてご理解・ご協力をお願いします。

- 他の参加者との間隔は極力密にならないようにご協力ください(ソーシャルディスタンスの確保)。
- 必要以外の会話、大きな声での会話はできるだけお控えください。
- 当日はマスクを持参し、研修中は必ずご着用ください。
- 会場での昼食時、他の参加者の間隔をとり、食事時の会話はお控えください。食事摂取時以外は、速やかにマスクの着用をお願い致します。
- 咳エチケットやこまめな手洗い・手指消毒等にご協力ください。
手指消毒用のアルコールを準備いたします。入室時等は必ずご使用ください。
- 会場の換気実施にご協力ください。
- 毎朝受付にて検温にご協力ください。
- 毎日、体調チェックシートをご記入いただき、必ずご提出をお願いします。
- 体調が優れない場合、会場にて参加をお断りする場合があります。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従ってください。

■研修終了後について

- 研修会終了後、14日以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに当センター職員研修部の担当者までご連絡ください。また、他の参加者や講師への情報提供についてご了承ください。

お問合せ先

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター

[TEL:06-6942-1331](tel:06-6942-1331)(代) 職員研修部 小國